

十和小・伊奈東中に学校賞

「サイエンス・グランプリ」

東京電力株式会社主催の「第16回サイエンス・グランプリ」において、十和小学校（清水博次校長）、伊奈東中学校（菊池靖夫校長）が、それぞれ学校賞を受賞しました。

このコンクールは、21世紀を担う小・中学生が、日常生活で感じた不思議なことについて実験・観察していくことで理科・科学への関心を高め、科学する心を育ていくきっかけになることを願って、平成7年から開催されています。

十和小学校では、4～6年生のほぼ全員が参加、「グループ



▶十和小学校での表彰式

での研究が多いが一つ一つのレポートはとてもしっかりしている。実験の仕方も丁寧で何度も試行してデータをとっていて、それぞれがともやる気のある作品であり、楽しんでる様子が伺える」と評価されました。

伊奈東中学校では、全校生徒の半数が参加、「科学分野を中心に研究し、授業・教科書の発展的なもので、実験をしっかりと行っている。作品は、どれもレベルの高い内容となっている」と評価されました。

それぞれの学校には、東京電力株式会社の方が訪れ、表彰式が行われました。

十和小に

茨城県租税教育功労者賞

十和小学校（清水博次校長）が、平成22年度茨城県租税教育功労者賞を受賞しました。

十和小学校では、平成12年度から毎年継続して、6年生に租税教室を開催。また、社会科や家庭科の授業に租税教室で使用した資料を活用したり、総合的な学習の時間で、税金を話題とした模擬国会討論会を開催する

谷和原中が奨励校に

「ソニー子ども科学教育プログラム」

（財）ソニー教育財団主催の「ソニー子ども科学教育プログラム」において谷和原中学校



▶実験スペースの様子

選ばれました。（高橋秀光校長）が、奨励校に

これはソニーが、日本の未来を担う子どもたちの知的好奇心や創造力を伸ばし、新しい世界を切り拓く人を育てることが大切だと考え、1959年より実施されている教育助成事業です。

谷和原中学校では、生徒たち

に理科や科学に興味を持ってもらおうと、理科の実験や観察などを多く取り入れた授業を行っています。また、理科室に自由な実験スペースを確保したり、つくば科学フェスタに参加するなど、生徒の主体性を活かした取り組みが実践されています。これらの活動が「さまざまな取り組みが実践され、効果が上がっている。着実に子どもたちが育っている」と評価されました。

伊奈高の桐島さん最優秀賞

～茨城県高等学校総合文化祭～

昨秋、県民文化センターで開催された平成22年度茨城県高等学校総合文化祭写真展において、伊奈高校写真同好会の桐島裕也さん（2年・伊奈中出身）の作品「夕暮れ」が、対象作品643点の中から最優秀賞に選ばれました。また、増田舞子さん（2年・小絹中出身）の作品「16才」も優秀賞を受賞しました。

桐島さんの作品は、平成23年度第35回全国高等学校総合文化祭（福島県開催）に茨城県代表として出品されます。増田さんの作品も関東地区高校写真展に出品される予定で、二人は伊奈高写真同好会躍進の中心として活躍しています。



桐島さんの作品（4枚組の1枚）